

# 第16回

## 台東区子供歴史・文化検定

### 問題用紙（小学生用）

- 解答<sup>かいとう</sup>時間は45分間です。
- この問題用紙は指示<sup>しじ</sup>があるまで開かないでください。
- 解答は、解答用紙（マークシート）の正解だと思う○の中を正<sup>せい</sup>確<sup>かく</sup>に塗<sup>ぬ</sup>りつぶしてください。

#### 《 解答用紙（マークシート）記入・マーク上の注意 》

- 1 記入<sup>らん</sup>欄・マーク欄以外には何も書かないでください。
- 2 えんぴつで、しっかり濃<sup>こ</sup>く塗りつぶしてください。
- 3 間違<sup>まちが</sup>えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

学 校 名	学 年	ク ラ ス	名 前
小学校	年	組	

台東区教育委員会



(問題は次のページから始まります。)

問1.

台東区には古墳時代にいくつもの古墳がつくられました。上野公園内の摺鉢山古墳のように今でも残っているものもあります。また鳥越神社付近にも古墳があったと考えられています。古墳はその地域を支配していた豪族の墓で、その中からさまざまな物が発掘されています。次のなかで区内の古墳から発掘されたものが一つあります。それはどれでしょうか。

- ア. 腕時計
- イ. 懐中電灯
- ウ. 埴輪
- エ. 観音菩薩立像

問2.

1625（寛永2）年に上野の山に徳川幕府の祈願寺として東叡山寛永寺が創建されました。次の中に、寛永寺の創建に関わっていない人物が一人います。それは誰でしょうか。

- ア. 天海僧正
- イ. 2代将軍徳川秀忠
- ウ. 3代将軍徳川家光
- エ. 8代将軍徳川吉宗

問3.

現在、「隅田川花火大会」が毎年開かれていますが、これは江戸時代に行われた「両国の川開き」における花火の打ち上げから続いているものです。花火の製作や打ち上げなどにかかわる職人を花火師<sup>はなびし</sup>といいますが、1843（天保14）年、花火師の□屋が火事をおこしたため、所払い<sup>ところばらい</sup>（住んでいるところから立ち退く刑罰<sup>けいばつ</sup>）となり、現在の墨田区両国から浅草に移ってきました。□屋と同じくらい有名な花火師に鍵屋<sup>かぎや</sup>があり、どちらも花火を見る時のかけ声で有名です。

□に入る文字は何でしょうか。

- ア. 華<sup>はな</sup>
- イ. 火
- ウ. 丸
- エ. 玉

問4.

1603（慶長<sup>けいちょう</sup>8）年に徳川家康<sup>とくがわいえやす</sup>が開いたのは、何幕府<sup>ぼくふ</sup>でしょうか。

- ア. 鎌倉幕府<sup>かまくら</sup>
- イ. 室町幕府<sup>むろまち</sup>
- ウ. 安土幕府<sup>あづち</sup>
- エ. 江戸幕府<sup>えど</sup>

問5.

1842（天保13）年2月、浅草に中村座と市村座が移転してきて、  
町という芝居町ができました。翌年には、森田座の控え櫓（有名な座が休演す  
るときに限って公演が許された座）である河原崎座も移ってきて、いわゆる  
三座が生まれます。これに、結城座などの操り人形の座も加わり、浅草北部は  
大いに栄えました。に入る言葉は何でしょうか。

- ア. 牛若
- イ. 猿若
- ウ. 寅若
- エ. 鳥若

問6.

古墳時代に上野台周辺に住んでいた人は、どのような家に住んでいたでしょう  
か。

- ア. 竪穴住居
- イ. 長屋
- ウ. 文化住宅
- エ. アパートメントハウス

問7.

第二次世界大戦後、戦争に行っていた人や国外で生活していた人が<sup>もと</sup>戻ってきたために、国内には人口が増えて、食べるものや着るものに困る人が多くいました。そうした<sup>こんらん</sup>混乱から<sup>ろてん</sup>露店が集まるようになり、<sup>しょうてんがい</sup>商店街として<sup>はってん</sup>発展した場所はどこでしょうか。

ア. 浅草<sup>なかみせ</sup>仲見世

イ. 佐竹<sup>さたけしょうてんがい</sup>商店街

ウ. 浅草<sup>あさくさひろこうじ</sup>広小路

エ. アメ横（上野）

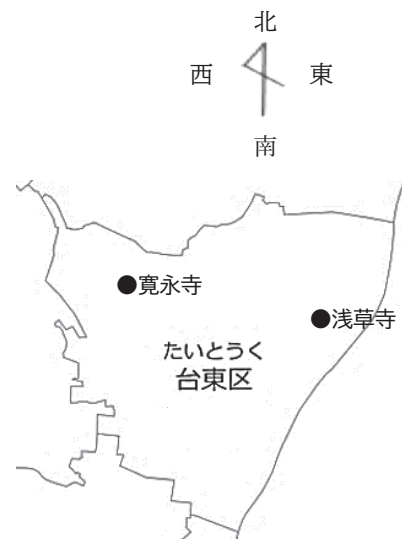
問8. 台東区の地形の説明として正しいものは次のうちどれでしょうか。

ア. 西側に台地があり、東側に低地がある。

イ. 東側に台地があり、南側に低地がある。

ウ. 北側に台地があり、西側に低地がある。

エ. 南側に台地があり、北側に低地がある。



問9.

太平洋戦争当時の台東区じょうきょうの社会状況について、間違っているものは次のうちどれでしょうか。

- ア. 1945（昭和20）年3月9日、10日の東京大空襲とうきょうだいくうしゅうでは大量に投下とうかされた焼夷弾しょういだんによって、約10万人もの生命がうばわれた。
- イ. 本土空襲が本格化しても、子どもたちが疎開そかいすることはなかった。
- ウ. 戦争が始まり食料不足が深刻化しんこくすると、子どもたちも、食料増産と体力向上を目指して、区内でもジャガイモやサトイモなどを栽培さいばいするようになった。
- エ. 台東区内では体力向上や食料不足を補おぎなうために、不忍池などを開墾かいこんすることも行われました。

問10.

江戸時代えどの中期になると食文化が豊ゆたかになり、いろいろな調味料が使われるようになりました。次の中に当時使われていた調味料ではないものが一つあります。それはどれでしょうか。

- ア. トマトケチャップ
- イ. 砂糖さとう
- ウ. しょうゆ
- エ. 塩

問 1 1.

江戸時代は火事が多く、町方・武家方それぞれに現代の消防団のような組織がつくられ、消火にあたっていました。この組織をなんと呼んだでしょうか。

- ア. 火消
- イ. 消火戦隊ウォーターマン
- ウ. 東京消防庁
- エ. 南町奉行所

問 1 2.

江戸時代では「時の鐘」により人々に時刻を知らせていました。捨て鐘（これから時刻を知らせますよと準備させる鐘）を3回ついたあと、午前0時ごろには9回、午前2時ごろには8回、午前4時ごろには7回鐘をつきました。さて午前6時ごろには何回鐘をついたでしょうか。

- ア. 6回
- イ. 1回
- ウ. 20回
- エ. 大きな音で3回と小さな音で2回



問 1 3.

江戸時代、人々が江戸の町に多く集まるようになると、料理を提<sup>てい</sup>供<sup>きょう</sup>するお店も出現するようになりました。次の中で江戸時代にはなかった店はどれでしょうか。

- ア. 桔梗屋安兵衛<sup>ききょうややす べ え</sup>（金竜山浅草餅<sup>きんりゅうざんあさくさもち</sup>を販売）
- イ. 正直庵<sup>しょうじきあん</sup>（そば屋）
- ウ. 八百善<sup>やおぜん</sup>（料理屋）
- エ. サイゼリヤ（イタリアン）

問 1 4.

江戸時代ではいろいろなものがリサイクルされました。江戸時代のリサイクルについて間<sup>ま</sup>違<sup>ちが</sup>っているものはどれでしょうか。

- ア. 箒<sup>ほうき</sup>売りは古い箒を下取りして、縄<sup>なわ</sup>やたわしにつくり直して売った。
- イ. 古傘<sup>ふるがさ</sup>買いが買い集めた古傘は、傘<sup>かさ</sup>の骨<sup>ほね</sup>と油紙<sup>あぶらがみ</sup>に分けられて再利用された。
- ウ. カマドの灰<sup>はい</sup>は灰<sup>はい</sup>買いに買い取られ、肥料<sup>ひりょう</sup>や染め物<sup>そめもの</sup>に使われた。
- エ. 段ボールは長屋の大家さんが収<sup>しゅう</sup>集<sup>しゅう</sup>し、売ったお金をためて皆で花見をした。

問 1 5.

江戸時代の水道について、正しいものはどれでしょうか。

- ア. 江戸の町中では、石や木でできた樋<sup>とい</sup>（水道管）を地中にうめて、その中に水を流した。
- イ. 江戸の住民は誰も水道料金を払わないで済んだ。
- ウ. 千川上水は明治時代になるまで使われていた。
- エ. 江戸の町には下水道はつくられなかった。

問16.

第二次世界大戦中は食料の生産量が減少し、食料が不足したため、政府はある制度をつくりました。この制度はどれでしょうか。

- ア. 配給制度
- イ. 割り当て制度
- ウ. 申し込み制度
- エ. 自給制度

問17.

花は、古くから人びとの生活の中で愛でられてきましたが、江戸時代になると、平和な時代が続いたこともあり、園芸を趣味とする人も多く現れます。台東区では、さまざまな花に関する市が開かれていました。さて、それでは次の4つのうち、江戸の人々にはあまり知られていなかった花はどれでしょうか。

- ア. 朝顔
- イ. ラベンダー
- ウ. 菊
- エ. 梅

問18.

電気のなかった江戸では、明かりを持ち歩くため、提灯が重宝されました。江戸手描提灯を受け継ぐ東京の提灯職人は、文字や家紋を書き込み完成させるのが主な仕事です。提灯の文字には、歌舞伎の  の流れをくむ江戸文字の一種が使われ、この文字書きが、提灯づくりの中でも一番難しいといわれています。では、 に入る、この提灯によく使われる書体を何というのでしょうか。

- ア. 勘亭流
- イ. 教科書体
- ウ. 明朝体
- エ. ゴシック体



問19.

台東区内では伝統工芸品が数多く作られています。次の中で伝統工芸品に当てはまらないものが一つあります。それはどれでしょうか。

- ア. 江戸つまみ 簪
- イ. 江戸切子
- ウ. 東京仏壇
- エ. ペットボトル

問20.

江戸時代、不<sup>しのばず</sup>忍<sup>のいけ</sup>池から流れる忍<sup>しのぶがわ</sup>川は、まず東へ向かい、下<sup>した</sup>谷<sup>や</sup>（上<sup>ひろ</sup>野<sup>こうじ</sup>）広小路<sup>ひろこうじ</sup>を横断<sup>おうだん</sup>していました。かつてそこには3つの橋がかかっていた、将<sup>しょう</sup>軍<sup>ぐん</sup>が寛永寺<sup>かんえいじ</sup>を訪<sup>おとず</sup>れる時には、中央の橋を使いました。この3つの橋は、何と呼ばれていたのでしょうか。

- ア. 一<sup>いっ</sup>本<sup>ぽん</sup>橋<sup>ばし</sup>
- イ. 八<sup>や</sup>つ<sup>はし</sup>橋
- ウ. 三<sup>み</sup>橋<sup>はし</sup>
- エ. 三<sup>さん</sup>枚<sup>まい</sup>橋<sup>ばし</sup>

問21.

隅田川は、現在は台東区と墨田区の区境になっていますが、江戸時代初期まではと下<sup>しも</sup>総<sup>もう</sup>国<sup>さのくに</sup>の国<sup>くに</sup>境<sup>さかい</sup>でした。両国橋の名は、この両方の国を結ぶというところからつけられました。に入る国名は何でしょうか。

- ア. 台東国
- イ. 大和国
- ウ. 日本国
- エ. 武蔵<sup>むさしのくに</sup>国

問22.

大名屋敷は上屋敷・中屋敷・下屋敷などと呼んで区別することがありますが、一般的に上屋敷の説明とされるのはどれでしょうか。

ア. 大名とその家族が住むところ。

イ. 大名の隠居や跡継ぎが住むところ。

ウ. 災害時の避難先、あるいは別荘や療養先などとして利用されたところ。

エ. 標高が一番高いところ。

問23.

次のうち、台東区内の隅田川にかかっている橋はどれでしょうか。

ア. 蔵前橋

イ. 駒形橋

ウ. 吾妻橋

エ. 合羽橋

問24.

1885（明治18）年、隅田川を上り下りする小型の蒸気船が登場しました。1区間の料金にちなんだ愛称で呼ばれたこの船は、戦争が始まるとともにしだいに廃止されてしまいましたが、今では隅田川を水上バスが運航し、たくさんの観光客に親しまれています。さて、この蒸気船は何と呼ばれたのでしょうか。

ア. 一ポンド蒸気

イ. 一円蒸気

ウ. 一ドル蒸気

エ. 一銭蒸気

問25.

「<sup>もんぜんまち</sup>門前町」とはどのような場所でしょうか。

ア. 寺の門前で、お祈り<sup>いの</sup>をするための場所。

イ. 寺の門前で、勉強をするための場所。

ウ. 寺の門前で、寺院に参拝<sup>さんぱい</sup>する人々に宿<sup>きゆうけい</sup>や休憩<sup>きゆうけい</sup>の場となり、飲食<sup>ていきよう</sup>などを提供<sup>ていきよう</sup>するための場所。

エ. 寺の門前で、都市の防衛<sup>ぼうえい</sup>をするための場所。

問26.

毎年4月8日頃、台東区内の寺院各所では、お釈迦<sup>しゃか</sup>さまの誕生日を祝い、お釈迦様の誕生仏を安置した花御堂<sup>はなみどう</sup>を設け、というお茶の接待などを行います。このお茶は、お釈迦さまにかけられ、参拝者にふるまわれます。に入るお茶の名前は、何でしょうか。

ア. <sup>こうちや</sup>紅茶

イ. <sup>あまちや</sup>甘茶

ウ. ジャスミン茶

エ. こげ茶

問27.

台東区千束にある おおとりじんじゃ 鷲神社は「とり いち酉の市」で有名ですが、この酉の市の説明で間違っているものはどれでしょうか。

- ア. 千束にある鷲神社の酉の市は、もともとは農民の しゅうかくさい 収穫祭に神社に にわとり 鶏を奉納したものが始まりと伝えられています。
- イ. 12年に一度の酉年だけの行事になります。
- ウ. 出世や商売繁盛を願う人々で賑にぎわいます。
- エ. 「福を搔かきこむ（取り込む）」という意味から、縁起物えんぎもののひとつとして「熊手」を売る店が立ち並びます。

問28.

「しちふくじんもうで七福神詣」はお正月に七つの神様をめぐり1年の福德を願う しんこう 信仰で、区内には やなか 谷中七福神、なごころ 浅草名所七福神、したや 下谷七福神などがあります。その七福神とは  ・ だいこくてん 大黒天 ・ びしゃもんてん 毘沙門天 ・ べんざいてん 弁財天 ・ ふくろくじゅ 福祿寿 ・ ほてい 布袋 ・ じゅうろうじん 寿老人のことです。さて、 に入る神様は次のうちどれでしょうか。

- ア. えびす てん 恵比須（天）
- イ. めぐろふどうそん 目黒不動尊
- ウ. とげぬき じぞうそん 地藏尊
- エ. らいじん 雷神

問29.

毎年正月に、報恩寺<sup>ほうおんじ</sup>では「まないた開き」という、手を触れずに長い箸<sup>はし</sup>と包丁<sup>ほうちよう</sup>で魚を料理する儀式<sup>ぎしき</sup>が行われています。さて、このときに用いられる魚とは何でしょうか。

- ア. クジラ
- イ. タコ
- ウ. シラス
- エ. コイ

問30.

鬼子母神<sup>きしもじん</sup>で知られる真源寺<sup>しんげんじ</sup>の境内を中心に、7月のはじめに夏の風物詩ともいえる花の鉢植え<sup>はちう</sup>を売る市が開かれます。このときに売られる花は何でしょうか。

- ア. 鬼灯<sup>ほおずき</sup>
- イ. 牡丹<sup>ぼたん</sup>
- ウ. 朝顔<sup>あさがお</sup>
- エ. 皐月<sup>さつき</sup>



問3 1.

鳥越神社<sup>とりこえじんじゃ</sup>のいい伝えによると、11世紀の中ごろ源頼義<sup>みなもとのもりよし</sup>、義家親子<sup>よしいえ</sup>が家来<sup>けらい</sup>をつれて京都から奥州へ行く途中<sup>とちゅう</sup>、隅田川<sup>さが</sup>をわたる場所を探していた時に、一羽の鳥が川の浅い場所<sup>しめ</sup>を示してくれたため、みなが無事に川を渡ることができました。このことを義家は、白鳥神社<sup>しらとり</sup>の白鳥大明神<sup>だいみょうじん</sup>の加護と考え、白鳥大明神<sup>だいみょうじん</sup>を鳥越大明神としておまつりしました。

さて、この鳥はどのような鳥だったでしょうか。

- ア. 赤い鳥
- イ. 黒い鳥
- ウ. 灰色の鳥
- エ. 白い鳥

問3 2.

この神社は11月に「火渡り神事<sup>ひわた</sup>」が行われることでも知られていますが、火災<sup>かさい</sup>から人命や家屋などを守ってくれると信じられていました。この神社はもともと神田<sup>ちんかしや</sup>にあって「鎮火社」というのが本来の神社名でした。しかし、人々は別名で呼んだようです。のちにこの別名が正式名となります。また、この神社には隣接<sup>りんせつ</sup>して火災防止のための空き地<sup>かさいぼうし</sup>が設けられ、そこは「秋葉原<sup>あきばはら</sup>」などと呼ばれていました。さて、この神社の名前は次のうちどれでしょうか。

- ア. 矢先稲荷神社<sup>やさきいなりじんじゃ</sup>
- イ. 神田神社
- ウ. 下谷神社
- エ. 秋葉神社<sup>あきばじんじゃ</sup>

問33.

江戸時代には今のかつば橋道具街通りを新堀川という川が流れていました。この川は大雨のたびに氾濫し、周辺の人を苦しめました。そこで、雨合羽を売って財を築いた合羽屋喜八は、私財を投げ出して新堀川を広げる工事を行いました。この時、ある生き物が工事を手伝ったという伝説があります。この生き物は妖怪と呼ばれる部類に入りますが、人との関わりが深い妖怪として各地に伝説が残っています。水の中ときゅうりが好きといわれるこの妖怪とは何でしょうか。

- ア. てんぐ
- イ. たぬき
- ウ. きつね
- エ. かつば

問34.

下谷神社には、日本画の巨匠である横山大観の描いた、ある想像上の生き物の絵が天井に描かれています。十二支のうちのひとつに数えられ、蛇を大きくしたような姿をしているこの生き物は、神社を火事から守っているといわれています。横山大観の描いたこの想像上の生き物の名前は何でしょうか。

- ア. ユニコーン
- イ. 鳳凰
- ウ. 麒麟
- エ. 龍

問35.

酒井抱一<sup>さかいほういつ</sup>は江戸時代後期の絵師です。次の中で酒井抱一の説明で間違っているものが一つあります。それはどれでしょうか。

ア. 姫路の大名、酒井家に生まれた。

イ. 尾形光琳<sup>おがたこうりん</sup>を慕い、琳派<sup>りんぱ</sup>を代表する画家になった。

ウ. 隠居<sup>いんきょ</sup>後は、根岸<sup>うげあん</sup>の雨華庵に住んだ。

エ. フェノロサと共に東京美術学校の設立に貢献した。

問36.

明治時代になると、今までの邦楽から西洋音楽中心の教育が取り入れられ、上野につくられた東京音楽学校からは多くの音楽家が輩出<sup>はいしゅつ</sup>されました。次の中で東京音楽学校で学んでいない人が一人います。それは誰でしょうか。

ア. 山田耕筰<sup>やまだこうさく</sup>

イ. 橋本雅邦<sup>はしもとがほう</sup>

ウ. 中山晋平<sup>なかやましんぺい</sup>

エ. 弘田龍太郎<sup>ひろたりゅうたろう</sup>

問37.

明治～大正時代の画家で、鹿児島に生まれ、はじめ法学を<sup>こころざ</sup>志してフランスに渡りましたが、途中で画家に<sup>とちゅう</sup>転向しました。帰国後、東京美術学校の西洋画科の教授として、多くの洋画家を育てました。新しい近代日本洋画を<sup>かくりつ</sup>確立し、<sup>きぞくいん</sup>貴族院議員や<sup>ていこく</sup>帝国美術院長なども<sup>れきにん</sup>歴任しています。1928（昭和3）年には、<sup>いさん</sup>遺産の一部を美術の<sup>しょうれい</sup>奨励に役立てるようにとの<sup>ゆいごん</sup>遺言によって、上野にその名字をつけた記念館が建てられ、2002（平成14）年には登録有形文化財に登録されました。この人物は誰でしょうか。

- ア. <sup>たきれんたろう</sup>瀧廉太郎
- イ. <sup>しもむらかんざん</sup>下村観山
- ウ. <sup>くろだせいき</sup>黒田清輝
- エ. <sup>ひらくしでんちゅう</sup>平櫛田中

問38.

「泰平の眠りをさます上喜撰（<sup>じょうきせん</sup>蒸気船）たった四杯（<sup>しはい</sup>四隻）で夜も眠れず」これは1853（嘉永6）年に黒船4隻（四杯）が来た時、上喜撰というお茶になぞらえて読まれた<sup>きょうか</sup>狂歌です。この時に来た黒船の<sup>しれいかん</sup>司令官は誰でしょうか。

- ア. ペリー
- イ. ロッシュ
- ウ. パークス
- エ. グローニン

問39.

江戸時代後期を代表する浮世絵師として知られ、「富嶽三十六景」や「富嶽百景」の作品を残した人は誰でしょうか。

- ア. 歌川広重
- イ. 葛飾北斎
- ウ. 勝川春章
- エ. 歌川国芳



問40.

次の文章は浅草の映画館についての説明です。間違っているものはどれでしょうか。

- ア. 明和年間に平賀源内が浅草の「花やしき」でビデオフィルムを使ったカラー映画を上映した。
- イ. 1903（明治36）年に日本初の常設映画館として「電気館」ができた。
- ウ. キネマカラーという方式のカラー映画が、1913（大正2）年に日本で初めて「浅草キリン館」で上映された。
- エ. 1914（大正3）年に天然色活動写真株式会社が設立され、キネマカラーで日本映画をつくり、浅草の「大勝館」で上映した。

問4 1.

花やしきは、1852（嘉永<sup>かえい</sup>5）年、浅草寺の裏手に、植木屋森田六三郎<sup>もりたろくさぶろう</sup>という人がつくったものです。江戸時代には、寛永寺の輪王寺宮<sup>りんのおうのみや</sup>などの身分の高い人がここで休憩<sup>きゅうけい</sup>するなど、評判<sup>ひょうばん</sup>がよいところでした。明治時代後半には、園内にあった菊人形<sup>きく</sup>や珍しい<sup>めずら</sup>動物が人気を集めました。1953（昭和28）年には、現存する日本のローラーコースター（ジェットコースター）が設置されるなど話題が多く、今でも日本の遊園地として全国に有名です。それでは、には何が入るでしょうか。

- ア. 最新
- イ. 最後
- ウ. 最大
- エ. 最古

問4 2.

大正時代になると東京の市街地が広がり、それまで主流だった路面電車<sup>しゆだん</sup>だけでは交通の手段が不足してきました。早川徳次<sup>はやかわのりつぐ</sup>はロンドンで地下鉄を見てその便利さを知り、東京にも必要だと考えて熱心に人々を説得しました。その努力が実り、1927（昭和2）年12月30日に東洋初の地下鉄が、間で営業運転を始めました。

に当てはまるのは、どれでしょうか。

- ア. 浅草～蔵前
- イ. 上野～浅草
- ウ. 横浜～新橋
- エ. 東京～大阪

問43.

道路上の最初の木製<sup>もくせい</sup>信号機は、1919（大正8）年に上野松坂屋前<sup>じやうしきばん</sup>の下谷（上野）広小路交差点<sup>せっち</sup>に設置<sup>せいち</sup>されました。この信号機には標識板<sup>ひょうしきばん</sup>が柱につけられ、それを手動で回して車の進行をコントロールしていました。その標識板には何と書かれていたのでしょうか。

- ア. 「トマレ」と「ススメ」
- イ. 「ストップ」と「ゴーゴー」
- ウ. 「ダメダメ」と「イケイケ」
- エ. 「ウゴクナ」と「ヨッシャ」

問44.

不忍池<sup>しのばずのいけ</sup>は、江戸幕府<sup>えどばくふ</sup>ができたころ、琵琶湖<sup>びわこ</sup>に見立てて整備<sup>せいび</sup>されましたが、1884（明治17）年に競馬場<sup>けいばじやう</sup>を建設<sup>けんせつ</sup>するため、周囲<sup>しゅうい</sup>がだ円形にうめたてられました。この2kmほどの遊歩道<sup>かこ</sup>で囲まれた不忍池は、レースを行うにはちょうどいい場所となっていたため、さまざまな種類のレースが行われました。それでは、次の中で、明治期に不忍池で行われなかったレースはどれでしょうか。

- ア. 自動車レース
- イ. オートバイレース
- ウ. 自転車レース
- エ. 電車レース

問4 5.

上野公園では毎年春になるとさまざまな種類の桜が花を咲かせ、たくさんの花見客でにぎわいます。その中でも日本で一番多く植えられ、一番有名な桜の名前は、上野の博物館に勤めていた藤野寄命<sup>ふじのきめい</sup>によって名づけられました。この桜は江戸時代末期<sup>えど まっき</sup>に江戸近郊<sup>きんこう</sup>の染井村<sup>そめいむら</sup>でつくり出されたといわれ、当時は正式な名前がなく、吉野桜<sup>よしのざくら</sup>などと呼ばれていました。この桜の名前は何でしょうか。

- ア. ソメイヨシノ
- イ. オオシマザクラ
- ウ. ウコン
- エ. アマノガワ

問4 6.

お寺によってはいくつもの門が建てられています。次の中で浅草寺の門でないものが一つあります。それはどれでしょうか。

- ア. 本堂前の「宝蔵門」<sup>ほうぞうもん</sup>
- イ. 総門とされる「風雷神門」<sup>ふうらいじんもん</sup>（雷門<sup>かみなりもん</sup>）
- ウ. 本坊の表門として建てられた「旧本坊表門」<sup>きゅうほんぼうおもてもん</sup>（黒門<sup>くろもん</sup>）
- エ. 本堂の東側に建っている「二天門」<sup>にてんもん</sup>



問47.

上野公園内にある旧東京音楽学校<sup>そうがくどう</sup>奏楽堂に関する説明文です。次のうち、間違っているものはどれでしょうか。

ア. この建物は明治時代に東京音楽学校（東京<sup>げいじゅつ</sup>藝術大学音楽学部）の本館として建てられたものです。

イ. 日本で最も古い木造<sup>もくぞう</sup>洋式音楽ホールになります。

ウ. 写真の奏楽堂の前に置かれた銅像は、東京音楽学校の生徒であった音楽家、のちのアメリカ大統領のリンカーンの像になります。

エ. この建物は明治時代に建てられたものなので、現在のような音響<sup>おんきょう</sup>設備<sup>せつび</sup>や装置<sup>そうち</sup>はありませんでした。



問48.

写真は江戸千家7代目蓮々齋<sup>れんれんさい</sup>が建てた茶室です。明治のはじめに現在地である池之端の不忍池の近くに移築されてきたもので、三疊台目席<sup>さんじょうだいめせき</sup>という様式でつくられています。さて、この茶室は何というのでしょうか。

ア. 一円庵<sup>あん</sup>

イ. 十円庵

ウ. 百円庵

エ. 千円庵



問49.

写真の建物は徳川幕府設立に貢献した<sup>さかきばらけ</sup>榊原家の屋敷地に、高知県の出身である<sup>みつびしざいばつ</sup>三菱財閥3代目当主の<sup>いわさきひさや</sup>岩崎久彌が建てた邸宅になります。洋館部分、和館部分、ビリヤードをする部屋で構成されています。さて、この建物は何と呼ばれているでしょうか。

ア. <sup>きゅういわざきけじゅうたく</sup>旧岩崎家住宅（旧岩崎邸）

イ. ホワイトハウス

ウ. <sup>ろくめいかん</sup>鹿鳴館

エ. <sup>よこやまたいかん</sup>横山大観記念館



問50.

この建物は上野にあり、2016（平成28）年に世界文化遺産<sup>いさん</sup>に登録されました。ここは実業家の<sup>まつかたこうじろう</sup>松方幸次郎氏が集めた西洋美術作品<sup>びじゅつ</sup>を展示<sup>てんじ</sup>するために建てられました。それでは、この建物とはどれでしょうか。

ア. <sup>あさくらちようそかん</sup>朝倉彫塑館

イ. <sup>せいようびじゅつ</sup>国立西洋美術館本館

ウ. <sup>きゅう</sup>旧<sup>ていしつ</sup>東京皇室博物館（東京国立博物館本館）

エ. <sup>ひようけいかん</sup>表慶館



